

# 食育ソムリエコーナー

☆☆☆☆☆ 1月の行事とその由来 ☆☆☆☆☆

しよいか〜ご習志野店 食育ソムリエ：石井 美智子

現在、しよいか〜ご習志野店において「食育ソムリエ」として活動中の石井です。

大震災や台風など大きな自然災害のあった2011年が明け、2012年がスタートしました。しよいか〜ご習志野店では1月5日より「幸福・幸運」を野菜福袋へ願いを込めて営業を開始しました。

●鏡開きとは——お正月に供えていた鏡餅を下げ、割り砕いて無病息災と延命を祈願してお餅を食べると言われています。当日はお餅のかわりに白玉を入れて振舞いました。



↑初売り・福袋の様子



←鏡開き・おしるこ配布の様子



●節分とは——季節を分けることを意味し、立春・立夏・立秋・立冬の前日で、中でも新年の始まりの立春の前日にあたる節分が最も代表的です。

季節の変わり目には「鬼」が入りやすいと考えられそれを払い「福」を招き入れる為に行うのが豆まきで、一年の厄除けを願って豆を食べます。

最近では恵方巻きも関東に浸透してきました。目を閉じて願いごとを思い浮かべながらその年の恵方に向かって無言で一本丸ごとの海苔巻きを丸かぶりするそうです。巻き寿司を切らず一本丸ごと食べるのは「縁を切らない」という意味が込められているそうです。(恵方巻きの由来は諸説あります。)



↑節分・豆まきの様子

習志野店では、千葉県特産の「落花生」を使用し、参加していただいたお客様にさらに「福」があるようにと、出荷者の方々から提供して頂いた農産物が当たる「当たりくじつき豆まき」を行いました。

ご利用いただいている「お客様」、しよいか〜ごへ出荷している「農家のみなさん」が今年一年健康で幸せに暮らせるよう願いが込められたイベントでした。